

8月26日（水） 第2回公開講座

「音楽療法から学ぶ、授業の可能性と子どもを見る新しい視点 ～音楽の利用法～」

講師：大垣女子短期大学 教授 菅田 文子 氏

今回の研修では、音楽療法の視点から音楽の持つ力について学びました。音楽には、身体に働きかける生理的な効果だけでなく、思い出や感情を呼び起こす心理的な働き、人と人をつなぎ、協力やコミュニケーションを促す社会的な働きがあることを理解しました。

菅田先生の演奏に合わせて楽器を鳴らす活動では、これらの動きを実際に体験し、リズムに合わせる場面では、特別な指示がなくても自然と周囲と動きを合わせてしまうことや、不協和音を聴くと違和感やもどかしさを覚えることなど、音楽が人に与える影響を具体的に感じる事ができました。

また、音楽心理学や脳科学の視点からも音楽の効果について学び、音楽が心や体、人とのつながりに大きな役割を果たしていることを科学的にも理解しました。こうした学びを通して、音楽の教育的な価値について理解を深める、有意義な研修となりました。

